

令和3年度 三木市立勤労者福祉センター運営委員会 会議録

1 日時・場所

令和3年7月13日(火) 15時00分～15時45分

三木市立勤労者福祉センター(サンライフ三木)2階 研修室

2 出席者

(1) 委員(8名)

岸井委員長、崎本副委員長、竹内委員、植村委員、與倉委員、今井委員、
梶谷委員、吉田委員

(欠席：三村委員、齊藤委員)

(2) 事務局(4名)

小山商工振興課長、平井商業労政係長、藤原商業労政係主事、
澤井所長

3 議題

(1) 報告事業

ア 令和2年度の利用状況及び事業実績について

イ 令和2年度決算について

ウ 雇用状況について

(ア) ふるさとハローワークについて

(イ) 月報「ハローワーク西神について」

(2) 協議事項

ア 令和3年度の事業計画について

イ 令和3年度予算について

ウ 新型コロナウイルス感染症対策について

4 公開・非公開 公開

5 傍聴人の数 0人

6 発言の内容

【事務局】

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

定刻となりましたのでこれより三木市立勤労福祉センター運営委員会を開催させていただきます。

本日は、10名中、8名の委員の皆様にご出席いただいております。

委員の過半数の出席がありますので、三木市立勤労者福祉センター運営委員

会要綱第6条の第2項の規定により、本日の委員会は成立しますことを報告いたします。

続きまして、まず初めに委員長にご挨拶をお願いいたします。

【委員長挨拶】

(自己紹介と開会挨拶)

【事務局】

ありがとうございました。

次に、各委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。

【各委員】

(自己紹介)

【事務局】

(自己紹介)

【事務局】

それでは、議事に移りますので、以降の進行につきましては、委員長をお願いいたします。

【委員長】

それでは、次第に基づいて進めさせていただきたいと思います。

最初に報告事項として、令和2年度の利用状況及び事業実績について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

(資料に基づき説明)

<資料への補足事項等>

① 施設利用状況

コロナ禍での施設閉鎖・利用制限等により全体の利用率は低下しているが、感染症対策でソーシャルディスタンスの確保が求められてことにより、多目的ホールの利用は増加している。

② 雇用状況・ふるさとハローワークについて

特になし。

③ 雇用情勢・月報「ハローワーク西神」について

※ 本案件についてはハローワーク西神所長から、兵庫県とハローワーク西神の雇用情勢について概略説明。

【概略】

・兵庫県の5月 有効求人倍率 0.94倍 (前月比0.01増)

- ・兵庫県の5月 新規求人倍率 1.69倍（前月比0.10増）
- ・有効求人倍率が前月を上回ったのは、令和3年1月以来4か月ぶり。
- ・有効求人倍率が1倍を下回るのは、令和2年7月から11か月連続。
- ・職業別常用有効求人倍率では、「建設・採掘の職業」「保安の職業」で高く、就職希望の多い事務的職業では恒常的に求人倍率が低い。
- ・正規職員の有効求人倍率は既に1倍を切っており、0.65倍。
- ・産業別一般新規求人状況では、「宿泊業、飲食サービス業」「卸売業、小売業」が減少人数第1位、2位となっている。
- ・西神ハローワーク管内の5月 有効求人倍率0.60倍
（去年同期0.72倍）
- ・求人が弱まっているが、求職者は引き続き高水準である。
- ・西神ハローワーク管内の特徴的な部分として、「生産工程の職業」である「金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断の職業」が有効求職者数37人に対して、有効求人数が125人である。三木市の地場産業である技術力を活かした製造業の有効求人倍率が3.38倍となっており、非常に高い状況にある。
- ・補足として、西神ハローワークのSNSを通じた情報発信を紹介され、Twitter、youtube、それから兵庫労働局ホームページ等々、様々な情報提供をしているので、フォローしてほしいと改めて依頼。

【委員長】

どうもありがとうございました。

先ほどの事務局及びハローワークの方から資料に基づいた説明等があったことについて、ご意見ご質問ございませんでしょうか。

（委員からの意見はなし）

コロナの特殊事情という点もあるので、求人倍率の悪化もやむを得ない感じはします。

余談ながら、新聞折込として週1回程度入る求人広告などをみておりまして、もやはり減ってきていますよね。

求職者がどの程度かは、あれでは分かりませんが、「求人は減っている」というのが現状というふうに見ています。

今後はまた変わっていくとは思いますが。

ご意見がなければ、次の議題に行かせていただいてもよろしいですか。

それでは協議事項の5番に移らせていただきます。

令和3年度の事業計画並びに予算について、事務局の方から説明をお願いします。

【事務局】

(資料に基づき説明)

<資料への補足事項等>

- ・本施設は、オープンが昭和60年で34年経過。老朽化・設備の不調等が見受けられるため、当該施設の適正な維持管理に努める。本年度中には本館の空調を更新し、電氣化を実施する予定であることを説明。

【委員長】

どうもありがとうございました。

ただいま事務局から説明があったことについて、委員の皆様方、これにこだわらなくてもいいと思いますので、ご質問なりご意見等ありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

【委員】

本年度に、施設整備としてエアコン(空調)改修があげられています。別件になるかと思われませんが、現在、1階の天井に穴を開けておられますことについて、これは雨漏りか何かの工事中でしょうか。

【事務局】

そちらは雨漏りではなく、ガス空調で全館に空調用の管が回っているのですが、その管に結露が生じまして、その下の結露対策のパンの下に結露が生じるという、根本(構造)的な問題に直面しておりまして、その解消のために、空調を電氣化することになっています。

今、天井に穴を開けている部分も、今回の工事に併せて可能な範囲は補修する予定です。目立つところが2ヶ所ありますが、補修予定です。皆様には非常にご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありません。

【委員】

分かりました。ありがとうございます。

それと、もう一つだけいいですか。

僕も、昔、こちらのトレーニング室を利用したことがあります。今、民間のジムなど、緊急事態宣言の時はもちろん、中止していましたが、今は非常に利用者が多いです。

こちらのトレーニング室についても利用促進を図られているとは思いますが、

コロナの影響で利用が増えてきているのではないのでしょうか。値段的には、格段に安いと思いますので、そういう要望、加減というのはいかががでしょうか。

【事務局】

現在、サンライフ三木の近隣施設である総合保健福祉センターが、新型コロナウイルスのワクチン接種のため貸館を中止しておりまして、そういった関係もあり、利用者の増加があるようです。

あとは、市の事情として、当館の設置目的ですとか、公共施設再配置計画の関係があります。1キロくらいの範囲内に同じ施設(トレーニング室)が、総合保健福祉センター、サンライフ三木、三木山総合公園、三木南交流センターとございますので、その辺の兼ね合いも含めて、また皆様と検討していきたいと考えております。

【委員長】

他は何かございますか。皆様もご利用されている方ですし、こういうことをしてもらったらありがたいとか。

施設を綺麗にしてくれというのは欲を言えばキリがないとは思いますが、こういうのがある方がいい、というようなことでも、要望にしていかないと改善というのでもできません。

いかがでしょうか。ほぼ現状で満足されている状態でしょうか。

【委員】

私たちは高齢で、半額で使わせてもらっています。この建物も古いということとはよく存じておりますので、今のままで何とか、使えるようにしていただければそれで納得なんです。

【委員長】

例えば先ほど事務局から説明のあった公共施設再配置計画の中で、具体的な全館再改修という計画はまだ出てないのでしょうか。

【事務局】

この施設を存続させる場合は長寿命化をするということにはなっておりますが、まだ計画の段階です。予算化もされておられませんので、今の段階では、なんとも申し上げようがないところです。

【委員長】

はい。ありがとうございました。

それと、事業計画の中で教えてください。「令和3年度サンライフ三木事業計画」資料中、「2 職業講習、職業相談及び職業情報の提供」「(2)さんだ若者

サポートステーション出張相談による事業支援」がありますね。これはどうい
うことでしょうか。三田市の方が対象という意味でしょうか。

【事務局】

こちらの件について、超氷河期ですとか、就職難だった方々などを支援する
ための国の事業があります。この事業を請負っておられるのが、「さんだ若者サ
ポートステーション」です。

三田市で実施しておられますが、三木市の方も行かれていますということで、
三木の方にも出張所を作っていただいています。

【委員長】

三木市が、エリアとして「さんだ若者サポートステーション」の中に入っ
ているということですか。

【事務局】

一応は、地域割りになっています。他には、こうべ若者サポートステーショ
ン、あかし若者サポートステーションなどもあり、三木市の場合は、三田市が
拠点です。

厚生労働省の事業で、「さんだ若者サポートステーション」は三田市に本部が
あり、加東市や三木市など近隣を囲んで対象地域ということで、もともと三木
市の方は三田市まで通っていらっしゃったのですが、利用が結構あるというこ
とで、数年前から月1回、サンライフ三木に出張所を開設してもらっています。
これに関する三木市の財政上の負担はありません。

【委員長】

ありがとうございました。

【事務局】

ここでお願いなのですが、「さんだ若者サポートステーション」の出張相談所
について、なかなか支援が必要な方に来ていただけないという状況があります。
皆様のお知り合いの方ですとか、就職したいけれども一歩踏み出せない方など
がいらっしゃいましたら、そういった方々の支援窓口ですので、ぜひご紹介い
ただいて、来ていただけるとありがたいです。

対象は49歳までの方です。よろしくお願いたします。

【委員長】

ありがとうございました。

その他、何でも結構ですので、質問や要望がありましたら。利用されている
方も、大体この辺の状況ご存知だと思いますので。

特にご質問なりご要望等ございませんか。

ないようでしたら、以上でもって協議事項を終わりにさせていただきます。
どうもありがとうございました。

【事務局】

どうもありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、長時間にわたり、三木市立勤労者福祉センターの運営について協議を賜り、ありがとうございました。

以上をもちまして、三木市立勤労福祉センター運営委委員会を閉会いたします。